

## 高田水利組合の現状と今後の課題

昭和井路高田地区水利組合  
組合長 江藤 久範



### 1. 現状

#### 1) 組合員数

時期	組合員数	備考
組合創設時	292人	昭和32年(1957年)
現在	149人	令和2年(2020年) 内、地区外組合員19人

#### 2) 耕地面積

時期	耕地面積	備考
組合創設時	約60町歩	昭和32年(1957年)
現在	約29町歩	令和2年(2020年) 内、地区外所有者分 2.4町歩

#### 3) 組織

- (1) 組合長 1名、(2) 副組合長 1名、(3) 会計 1名、(4) 理事 12名  
(5) 監事 2名 合計17名

#### 4) 運営方針

- (1) 水路を守り既得権の侵害を防止するとともに、保全に努める。
- (2) 休耕田荒地等は、単位組合長及び関係者と連絡をとりながら、水路の保全と通水の効率化に努める。
- (3) 揚水通配水については、単位組合長及び関係者と協議し、連絡をとりながら用水の有効利用に努める。
- (4) 水路の管理は、通水時以外でも十分に整備する事に努める。
- (5) 不用水路並びに水路敷の有効利用に努める。
- (6) その他必要事項は、単位組合長及び関係者と話し合いをしながら、善処していく。

#### 5) 活動

- (1) 定期総会 (1回/年: 5月)
- (2) 役員会 (4回/年: 5月、11月、12月、4月)
- (3) 揚水機場水神祭 (通水開始前: 6月)
- (4) 本線水路清掃、草刈 (2回/年: 5月、10月)
- (5) 通水期間 (通水開始 6月10日、停水 9月28日)
- (6) その他
  - ① 水路での事故防止について回覧配布 (関係先へ依頼)  
(a) 高田幼稚園、(b) 高田小学校、(c) 高田校区自治部会
  - ② 水路補修要望書提出 (大分市: 発生の都度)

### 2. 今後の課題

#### 1) 組合員の高齢化、後継者不足による耕地の維持管理。

- (1) 現組合員年齢は、65歳以上(1名を除き)のため、今後の組織存続が懸念される。
- (2) 市街化調整区域の耕地の売買は、制約があるので安易に売却不可。  
※市街化区域は、耕地売却に規制がないため宅地化が進んでいる。
- (3) 耕作放棄地には、雑草、樹木が生い茂り環境悪化を助長する。

#### 2) 稲作集約栽培農家への行政支援制度の実現。

- (1) 自作困難な耕地を集約、耕作する農家への行政支援制度の導入を望む。  
※現在約19町歩の耕地に於いて、地区内2名の農業経営者が耕作している実態により、耕地の荒廃化防止に貢献している。(地区組合員自作耕地約7.6町歩)